

頭文字	読み札	解説
あ	<p>さあ！お口の中の点検だ</p> <p>赤城町(あかしろちょう)の伊藤歯科へ</p>	<p>1981年8月設立。2021年には40周年を迎えた地域でも有数の「老舗」の歯医者さん。お陰様で歯は元気！という方でも三ツ川ハロウインの会場にもなっているアノ歯医者さんと言えば分かる方も多いでしょうか。建物もとつてもエモいですよね～(萌)。院長先生を支えるのは、ご長男の若先生。その弟さんも近くに新たな歯科医院を開設されました。お口の中から町のみなさんの健康を守ってくださっています。健康は良い歯から。いろんな口腔指導もしてさせていただきますよ。</p>
い	<p>たくさん魅力が残っている</p> <p>岩倉街道(いわくらかいどう)で歴史に触れよう</p>	<p>江戸時代、尾張北部の村々より、枇杷島の青果市場へ農産物を運ぶ道として岩倉街道は利用されました。人々の往来が盛になると、中小田井周辺には味噌や油など、日用品を販売する商店が軒を連ねたといえます。往時を偲ばせるような立派な建物が、現在も中小田井の岩倉街道周辺には残り、名古屋市の町並み保存地区にも指定されています。ここで暮らす方々と、長い年月が創り出した、かけがえのない魅力が現在もヒツソリと残っています。もう二度と再現することのできない町並みを、みんなで大切にしていきたいですね。</p>
う	<p>昔の呼び名を知ってるかい？</p> <p>うたりとよばれた歌里町(うたさとちょう)</p>	<p>三ツ川タウンのほぼ中心に位置する歌里町。1972(昭和47)年に山田町大野木と山田町上小田井の各一部が合わさり、歌里町として成立しました。かつて昭和の三ツ川には紡績、染色などの工場が多く、そこに従事する工員さんもたくさん住んでいました。なかでも歌里町には縫製工場が多く、その名残のお店が今も操業中。その名も「うたり」さん。店主いわく、歌里は昔「うたり」と呼ばれていたそうなの…。大正2年生まれの前代からは「なかつ」など古い地名も日常会話に出ていたそうです。かつての町の字名(あざな)を調べてみると面白い発見があるかもしれません。</p>
え	<p>意外に多いこのまちに</p> <p>英会話教室でレッツエンジョイ</p>	<p>西区の全人口のうち、約3割が三ツ川タウンに暮らしています(令和3年7月1日時点)。三ツ川タウンは世代別の構成比もバランスしているほうで、子どもが多い町なんです。そんな三ツ川は学習塾や英会話教室の多さも目立ちます。中には本格的なインターナショナルスクールもあります。英会話の力を身につけて世界に羽ばたきましょう！</p>
お	<p>町を守ったなまけもの</p> <p>小田井人足(おたいにんそく)のホントの姿</p>	<p>江戸時代、庄内川が増水すると、名古屋城下を水害から守るため、役人は村人に小田井村の堤防を切らせることを命じました。村人は堤防を切れば自分たちの家や田畑が大被害を受けるので、表面上は一生懸命働くふりをし、実際には少しも能率を上げずにわざと時間をかけ、ひたすら水がひくのを待ちました。このような史実から、意匠を表す「小田井人足」の語が起こったといわれています。しかし、結果として何度も自らの土地を犠牲にしながら城下を守ったのは、他ならぬ小田井人足だったのです。</p>
か	<p>子どもにやさしい町づくり</p> <p>上小田井保育園から始まった</p>	<p>昭和31年、自治会が経営する無認可の保育所としてスタート。田植えの季節、若いお母さんの手も借りたいことから、安心して子どもを預けられる場を…と住民の手で作った保育所でした。昭和48年には、社会福祉法人諏訪福祉会上小田井保育園として運営を開始。平成28年に場所を現在の南川町に移転、鉄骨造3階建ての園舎を建設。交通自警組織「青バ隊」など、町ぐるみで子どもを見守ろうという取り組みの原点は、この保育園設立の経緯にも表れています。</p>
き	<p>お腹の空いた学校帰り</p> <p>郷愁(きょうしゅう)誘うパンのにおい</p>	<p>玉池町の山崎製パン工場からのなんともいえないパンの匂い。下校のとき、部活動のとき、友達と遊ぶ放課後。アノ匂いにやられた子どもは多いはず。全国に28ヶ所(令和3年7月時点)ある工場のうちのひとつで歴史も古い工場です。ほら、パンの匂いにあの頃の町の景色や友達顔の記憶が重なりませんか？</p>
く	<p>町に伝わる都市伝説</p> <p>口裂け女にご注意を</p>	<p>マスクをした若い女性が、学校帰りの子供に「ねえ私、きれい？」と訊ねてくる。「きれい」と答えると、「……これでも……？」と言いながらマスクを外す。するとその口は耳元まで大きく裂けていた、というもの。「きれいじゃない」と答えると包丁や鋏で斬り殺されるらしい。昭和50年代にブレイクした妖怪都市伝説。かつてあった名鉄「平田橋」駅付近で目撃したというネタが名古屋タイムズで報道されたことも。</p>
け	<p>利用車1日2000台</p> <p>ケッタ置き場は大盛況(だいせいききょう)</p>	<p>上小田井駅西北に南川川に渡る自転車置き場。定期利用者、一日利用者あわせて、一日に2000台どころか3000台前後の利用者があがるそうで、名古屋でも有数の巨大自転車置き場だそうです。管理事務所も大変でしょうね。暑い日も寒い日も自転車の整理整頓、管理をしてくださっている管理事務所のおじさま達には感謝しかありませんね！</p>
こ	<p>暑さ吹き飛ばオアシスは</p> <p>五町公園(ごちょうこうえん)市営プール</p>	<p>三ツ川タウンの中でもひととき目立つ大きな五町公園。「ごまち」の呼び名が親しまれているようですが、実は「ごちょう」が正解。この公園の魅力のひとつが、その名も山田プール。大人用の25メートルプール、水深0.8m～1mの学童用プール、水深0.3m～0.4mの幼児用プールを完備。以前は名古屋場所に来た力士さんがプカプカ浮いたり、監視員さんのエビカニクス体操が披露されたりと、ほのぼの話題にも事欠きません。</p>
さ	<p>春になるのが待ち遠しい</p> <p>桜のトンネル蛇池公園(じゃいけこうえん)</p>	<p>蛇池公園東側の堤防。桜の季節はそれはもう圧巻の光景です。桜の木々がまるでトンネルを作るように道路を覆います。その脇の芝生には、たくさんの方がシートを広げてお花見を楽しんだり。桜トンネルになる狭い道路は車も往來します。写真撮影に集中しすぎて事故など遭わないように気を付けてくださいね。</p>

頭文字	読み札	解説
し	<p>広がる水田 桑畑(くわばたけ)</p> <p>しらさぎ小(しょう)は幻の校名</p>	<p>みんなご存じの中小田井小学校。1978年(昭和53年)、山田小学校から分校する際に新しい学校名をどうするか、地元の方々でお話し合いがありました。その際、一部の方々からは「しらさぎ小学校」という提案があったそうです。当時の中小田井地区は、広々とした農地も多く残り、春から夏にかけては、しらさぎが飛来することも。水田から飛び立つしらさぎの姿を新たな小学校の名前にしようとした試みは、「中小田井」派の声に押し切られたそうです。</p>
す	<p>アサッテの人で芥川賞(あくたがわしょう)</p> <p>諏訪哲史(すわてつし)は町の文豪</p>	<p>2007年に第50回群像新人文文学賞を受賞。同年に同作品で第137回芥川龍之介賞を受賞。この2つの賞の同時受賞は村上龍以来31年ぶりの快挙。この作品には、幼いころ吃音(どもり)に苦しんだ経験が投影されています。実際に諏訪さんがよく利用したのが山田図書館。図書館に寄贈された色紙には自筆でこう書かれています。「TVゲームをしているとき、君は生きていません。本を読んでいるとき、君は生きて、はばたいています。本を持って外へ出かけよう！」</p>
せ	<p>お湯につかれれば鼻歌一曲</p> <p>銭湯入ってみんなゴキゲン</p>	<p>5年前には西区内に9軒あった銭湯も、いまや5軒を数えるまでになってしまいました。そのうちの2つが三ツ川タウンのなかにあります。小田井温泉さんと比良温泉さん。いまや銭湯の課題は後継者問題。比良温泉さんには後継者がいらっしゃいますが、小田井温泉さんは今のところ後継者不在なんだそうです。スーパー銭湯とは違った雰囲気の魅力の昔ながらの銭湯。小田井温泉には毎年2月、国府宮のはだか祭後に、はだか男衆が冷えた体を温めにやってみるとか。銭湯未体験のあなた。一度入浴してみませんか？</p>
そ	<p>僕だけずっと在校生</p> <p>卒業してもあなたのやまおん</p>	<p>山田中学校が、学校の校章をモチーフにして作った公式キャラクター「やまおん」。生徒会がデザインを募集し、全校生徒らで投票して決定。着ぐるみも作りました。親しみやすい学校のシンボルとして、校内や地域で取り組む募金活動などで活躍中？山田の卒業生、卒業してもボクを忘れないでね。</p>
た	<p>あの信長もあきらめた</p> <p>大蛇(だいじゃ)伝説ウソかホントか</p>	<p>比良の蛇池が、かつて「小澤池」と呼ばれた頃、この池に大蛇が出るといふ村人の噂を、若き日の織田信長が耳にしました。周辺の村人達に池の水を全て汲み出すように命令したが、いくら汲んでも水は無くなり、最後は自ら池の中に潜って大蛇を探したものの見つかることが出来ません。さらに水練(泳ぎ)の得意な鶴左衛門という男にも探させたがやはり見つけれなかったため、ようやく信長は諦めたという伝説があります。これをきっかけにして、この池は「蛇池」と呼ばれるようになったといえます。</p>
ち	<p>何があるかな？行ってみよう</p> <p>地区会館で学びとふれあい</p>	<p>山田地区会館は1981(昭和56)年に建てられた地域のコミュニティ施設。通称「やまちく」。自治会行事のほか剣道・少林寺・空手・ヨガの教室、書道・茶道・華道のお稽古、着付け教室なんかも行われています。卓球やバドミントン、さらには愛知県の地域スポーツであるレクリエーション・インディアカも出来ちゃいます。けっして最先端ではなく、思い切り昭和臭プンプン。でもなんだか温かい空気いっぱい「やまちく」は老若男女の集う場です。</p>
つ	<p>こころ弾ける(はじける)ダンシング</p> <p>強くて有名！Y.D.C.(ワイ. ディー. シー)</p>	<p>1978年(昭和53年)開校、翌年には現在の校舎へ移動。1980年(昭和50年)3月に初めての卒業生を輩出した三ツ川地元の山田高校。その公式ダンス部「山田ダンスクラブ(Y.D.C.)」は、なんと9年連続で全国大会に出場している名門クラブ。2019年大会ではリカル部門2位、HIP HOP small部門3位、ブロップ部門5位と大健闘！夢は3部門全国優勝です！これからもY.D.C.の活躍から目が離せませんよ！</p>
て	<p>地下鉄・名鉄・城北線</p> <p>鉄道マニアの熱視線</p>	<p>地下鉄鶴舞線、名鉄犬山線、そして東海交通事業 城北線。3つの路線が集まる三ツ川。県道江南線の際では、実にこの3路線すべてが交わるという、鉄道マニアにはたまらない一面もこの町の魅力のひとつかもしれません。3路線すべての走行車両が納まった奇跡の1枚。そんな写真、撮れたらいいですね！</p>
と	<p>町の歴史を探しに行こう</p> <p>図書館に行けばきっと見つかる</p>	<p>平成17年5月、名古屋市図書館の20館目の図書館として、山田支所3階に開館しました。実用書・読み物・児童書を中心に所蔵していますが、この地域の歴史をまとめた稀少な本も豊富です。中でも郷土に言い伝わる伝説や物語をまとめた資料もあります。身近な地域の昔の姿を思いながら、今の町並を見てみると意外な発見があるかもしれません。</p>
な	<p>お寺に香る鬢付(びんつ)け油</p> <p>名古屋場所の季節がやってきた</p>	<p>大相撲名古屋場所の開催される7月。元幕内・北勝鬨が親方を務める伊勢の海部屋が中小田井の願王寺(善光寺別院)を宿舎として利用しています。鬢付け油とは、力士が長い髪の毛を結うのに使用する独特の整髪油(舞妓さんも使っているそうです)。この名古屋場所の季節は、オフタイムの若い力士とすれ違うことも多くなりますが、そのとき「ぶーん」といいう香りがするのです。岩倉街道沿いの土俵では朝稽古の様子も見れますよ。</p>
に	<p>みんなで作ると楽しいな</p> <p>ニッコリ笑顔で三ツ川カルタ</p>	<p>三ツ川カルタはいかにして誕生したのか？プロジェクト1年目、当時参加して下さっていた愛知淑徳大学の間宮ゼミの学生さんから出た企画が発点です。町の意外な一面、古い伝説、面白いお店、大好きスポットなどを句にして、いろいろな人たちの交流に役立つことを願って制作しました。そしてその三ツ川カルタも一部の読札を差し替え、絵札を刷新し第2版をリリース！第1版同様にかわいがってやってください！</p>
ぬ	<p>河川敷を探検だ！</p> <p>主(ぬし)を探せ新川、矢田川、庄内川</p>	<p>身近なようで意外と知らない三ツ川タウンの三つの川。魚っているの？なんだか群れている鳥の集団、あれナニ？河川敷から水辺に近づいてみるとカニも見つけることが出来ます。新川にはヌートリア、庄内川にはイタチもいるらしいです。探検してみると意外な「川の主」と出会えるかもしれません。</p>

頭文字	読み札	解説
ね	今日のおかずは何にしよう ねこも喜ぶ出張(しゅつちよう)魚屋さん	今ではすっかり珍しい移動販売の魚屋さん。車にその日の朝獲れたばかりの新鮮な魚介類を積んで、みんなの町まで売りに来てくれます。販売箇所は比良、大野木、市場木町。決まった時間になるといつもの場所に主婦の方たちが集まってきます。「今日は何かがおススメなの?」「今晚のおかず、何にする?」お店の人と、あるいはお客さん同士で話しも弾みます。
の	みんなであのポーズやってみよう 伸びよ若者、ブロンズ像	山田中学校の正門脇にあるブロンズ像。1977年(昭和52年)、創立30周年を記念して設置されました。「若者の像ー伸びよ若者」と言います。力強く、伸び伸びと両手を振り、元気に歩くようなポーズ。同じポーズでも歩いてみるとけっこうたいへん!でもなんだかパワーみなぎる感じがします!
は	緑地で楽しむ夏まつり 花火に込める夢・希望	2018年8月8日。庄内緑地の河川敷から50発の打ち上げ花火が上がりました。時間して約75秒。日本で2番目に短い打ち上げ花火です。以前あった矢田川花火大会の伝統を継承し、町の方々の心に響く夏まつりを目指して、地元の有志と矢田川花火のNPOとが手を取り合って実行委員会を組織しています。夏まつりのフィナーレを飾る打ち上げ花火。これからも町のみんなで育てていきたいですね。
ひ	どんなお城があったかな? 比良城は佐々成政(ささなりまさ)のお城	佐々成政は戦国時代の武将で、織田信長の家臣のひとり。現在、光通寺の場所に成政の居城である比良城があったとされます。現在は城の面影もありませんが、かつては東西68m、南北72mの規模で二重のお堀が巡っていたとか。平城という造りで、名古屋城のように城郭が何層も積みあがった格好ではなかったようです。1540年前後に成政の父親である佐々成宗によって建てられました。成政自身はこのお城で生まれたとされます。
ふ	なんなん 名古屋の山田地区 ふれあい音頭で盆おどり	地域各所の盆踊り。三ツ川タウンの5つの小学区でも、毎夏、町内会主催の盆おどりが開催されます。それぞれに趣向が凝らされて、地域の人たちに愛されています。ただ祭りの担い手の高齢化などから開催スタイルを少しずつ変えたりと、時代に合わせた変化も遂げているようです。西区の盆おどりといえば「西区もーやっこの歌」がありますが、山田地区にはさらに「山田地区ふれあい音頭」という「ソウルミュージック」ならぬ「ソウル音頭」があります。山田小学校の児童は、低学年の時の運動会で振りを覚えるため、かなりの確率で踊れてしまいます。
へ	災害が起きたら大変だ ヘリポートは支所のうえ	2000(平成12)年の東海豪雨の際、三ツ川タウンの中でも山田学区内では多くの浸水被害を受けました。山田支所も床上浸水し、災害時におけるこの地域の課題が浮き彫りになりました。物資の配給やケガ人・病人の搬送手段としてヘリコプターの必要性にも注目が集まり、ちょうど庁舎新築計画のあった支所の屋上階にヘリポートが設けられました。区役所の中でも「支所」でヘリポートがあるのは、全国的にも珍しいようです。でも使われないことの方がシアワセですね。
ほ	親子二代で世界を目指す ボクサー魂 丸木(まるき)ジム	知る人ぞ知る東海地方を代表するボクシングジム。東洋太平洋スーパーバンタム級チャンピオンの石井広三や同ウエルター級王者の渡辺博らを輩出しています。ジム創業の前会長から、2019年にジムを引き継いだのは息子である丸木和也さん。現在、弟の凌介さんが日本ランキング上位で現役活躍中。ジムの名前は天熊丸木(てんゆうまるき)ボクシングジム。「三ツ川のジョー」誕生目指せ!
ま	18歳になったら免許が取れるよ 迷ってしまう車校(しゃこう)選び	18歳になったら出来ること。そう車の免許が取れますね!免許を取るなら自動車学校。名古屋の子なら「車校」って呼ぶのかな?庄内川橋の南北には、3つの自動車学校があります。それぞれ特徴があって、どこを選ぶか迷ってしまいますね。しっかり技術の習得と交通ルールを学んでスマートなドライブを楽しみましょう。
み	3つの川と2つの大きな公園 三ツ川タウンに住みたいな	三ツ川タウンには、新川、庄内川、矢田川の3つの川があります。矢田川はどちらかと言えば北区を流れる川のイメージですが、庄内川橋の近くで庄内川と合流しているのです。また地域の中には公園がたくさんあり、中でも目立って大きな公園が、庄内緑地公園と蛇池公園(洗堰公園)。規模では庄内緑地は市内有数。蛇池公園も昔から隠れた桜の名所として親しまれています。川と緑と花の色。その三色が三ツ川タウンのイメージカラーになっています。
む	チューチュー甘い春の味 むかし懐かしつつじ通り	県道名草線沿いや八筋町交差点(デニーズのある交差点)と蛇池公園を結ぶ通り沿いにはつつじが多く植栽されています。つつじの花をもうで根元をチューチュー吸うと美味しい蜜が味わえるのを知っていますか?中には毒性のある種類のつつじもありますので、トライする前にはちゃんと種類を勉強してからにしましょう。
め	今日も走る青パト隊 目線の先には地域の安全	かつてのどかだったこの地域も大型商業施設ができ、高速道路へのアクセス利便性が高まると、残念なことに増加したのが街頭犯罪の件数。2006年(平成18年)に自分たちの町は自分たちで守ろう!と防犯組織を設立し、始まったのが青色灯パトローカーによる地域内巡回でした。設立から15年。隊員数は60余名を数える青パト隊。昼夜、町の安全を見守ります。
も	ファッション、フード、映画館 MOZO(モゾ)に行ってみよう!	アパレル・雑貨などの専門店、各種飲食店、眼科に歯科にクリニック。映画館にスポーツジム、家電量販店まで隣接してあります。現在のMOZOは2009年にリニューアルしたもので、以前あったものは「ワンダーシティ(通称ワンダー)」で1994(平成6)年に開業しています。イオンモールの中でも、国内有数の床面積を誇る規模。LEDの積極活用や壁面緑化などを取り入れており、2010(平成22)年に、都市緑化技術開発機構の第9回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクールの国土交通大臣賞を受賞しています。

頭文字	読み札	解説
や	<b>畑でつながる人と人</b> <b>野菜を通したコミュニケーション</b>	<p>三ツ川タウンには畑がたくさんあります。かつては稲作の田んぼの多い地域でしたが、上小田井駅が出来た頃から、人口も増えてきて農地の宅地化が進み、田んぼはほとんどなくなりました。ところどころに残ったのは畑。大根、にんじん、ナスにピーマン、冬瓜。中にはスイカやイチゴを育てている畑も。それぞれの畑で採れたものを物々交換する人も多いよう。馴染みの方のところへ「朝採れ野菜」のプレゼント。何気ない日常の会話も弾みます。こうした三ツ川産の野菜、とってもおいしいんですよ。</p>
ゆ	<b>風そよぎ釣り人たちが糸垂れる</b> <b>夕暮れ時が美しい庄内川橋</b>	<p>川釣りを楽しむ人の姿も最近は少し減ったような気がしますが、それでも庄内川では釣り人達が糸を垂らす光景が見られます。春風の心地いい頃、キラキラした水面も眩しく感じます。そんな庄内川の一日のクライマックスは夕暮れどき。真っ赤な太陽が緑地公園の木立に落ちて行き、空は青から赤へ、そして濃紺へとグラデーションを見せながら暮れていきます。こうした夕暮れの景色を楽しめる地域も、そうそう当たり前にあるわけではありません。</p>
よ	<b>僕たちの歩くこの道は</b> <b>用水路が残っているよ</b>	<p>三ツ川タウンには、山西用水路という大きな農業用水が流れています。庄内川から取水し、大野木エリア、山田エリア、中小田井エリアを經由して清須市へと至ります。かつてこの地域に農業が盛んだったころは、それは大切な生命線ともいえる用水だったのです。田んぼの減った現在では、用水は暗渠(蓋をした地下水路)となり、通学路や憩いの散歩道として整備され、多くの人に利用されています。</p>
ら	<b>薬膳(やくぜん)、まぜそば、台湾、とんこつ</b> <b>ラーメン好きならどこ選ぶ？</b>	<p>今日のお昼は何食べよう？という時。一度取りつかれたら最後、どうしてもアレ食べなきゃ気がすまない。そんな時のあなたの熱烈推しはどのお店のどのラーメン？あのラーメン道 佐野実氏の言葉。「ラーメンばかり食って病気になるかなよ。ラーメンが悪者になるだろ」ラーメン好きなあなた。お気をつけください(笑)</p>
り	<b>春は土手でつくし採り</b> <b>緑地公園でみんなで遊ぼう</b>	<p>庄内川の堤防では土筆(つくし)がよく採れます。堤防の斜面は思う以上になかなか急斜面です。つくし採りに夢中になっているとけつこう疲れます。それでも止められないのがつくし採り(笑)。つくし採りの後は、緑地公園の芝生に寝転がったり、キャッチボールしたり。バーベキュー広場で焼肉と一緒に、採ったばかりのつくしの玉子とじなんかも良いですね。ヘタを取るのがひと苦労ですけど…</p>
る	<b>子どもたちに大人気！</b> <b>壘(るい)を奪え、ソフトボール</b>	<p>三ツ川っ子たちに人気のソフトボール。子ども会で取り組む子が多いことありますが、何と言っても三ツ川には練習場所が豊富。河川敷グラウンドもありますし、各町内にも公園があります。公園の多さは西区内でも特に充実しているようですね。ソフトではなく野球ですが、あのイチローもすぐ近くの豊山町出身です。練習場所は地元町内のグラウンドだったり、バッティングセンターでした。ソフトボールがオリンピックの正式競技としてしっかり定着してくれるといいですね。</p>
れ	<b>星神社に残された</b> <b>歴史ある七夕(たなばた)伝説</b>	<p>星神社には、物悲しい恋にまつわる七夕伝説が言い伝えられています。その昔、小田井村の青年が、ある娘と出会い恋に落ちました。ある日青年は、自分の親に娘を嫁にしたいと話します。どうにか父親の了解を得た青年は急いで娘のもとへ報告に行こうとします。が、その日はめったにない大雨で庄内川は大増水。いつも使う渡し舟が出てくれません。急いだ青年はそのまま川へ泳ぎに入りますが、急流に流されてしまいます。数日後、娘に届いたのは枇杷島あたりに若い男の水死体があがったという悲しい知らせでした。娘は悲しみにくれて、傷心のあまり庄内川に身を投げてしまったのです。天に昇り、星となってお互いを見つめ輝きあう二人。村人たちは、牽牛星は小田井村の青年、織女星は娘だと思い、庄内川を天の川にみたと悲しい七夕伝説になりました。</p>
ろ	<b>びーひやら、どんどん、笛太鼓(ふえだいこ)</b> <b>六所神社(ろくしょじんじや)のお祭りだ</b>	<p>六所神社は比良エリアの氏神様。その神社の祭礼に登場するのが、180年を超える歴史を持つ2台の山車。湯取神子車山車は文政8年(1825年)、二福神車山車は文政9年(1826年)の作とされ、いまだ地域の秋祭りでは曳きまわしが披露されています。西暦の奇数年がお祭りの開催年。地域の子も達は、初夏の頃から祭囃子の稽古に精を出します。集会所で稽古する笛や太鼓の音色が耳に心地いいものです。</p>
わ	<b>備えあれば憂(うれ)いなし</b> <b>忘れない東海豪雨</b>	<p>2000(平成12)年の東海豪雨では、一日半の短い間に、名古屋市の年平均降水量の3分の一にも値する大雨が降りました。まさかというレベルの降水量です。西区あし原町の新川堤防が決壊したことで西枇杷島町から西区の中小田井地区、上小田井地区、さらに東側の大野木エリアの手前まで浸水被害は広がりました。三ツ川タウンにとって、当時の決壊箇所は川の下流でした。もしも決壊箇所が上流だったとしたら、浸水スピードはもっと速く、被害も広範囲になる可能性がありました。いざというとき、あなたはどこへ避難しますか？家族と連絡が取れない場合、どうしますか？家庭には備蓄品がありますか？災害において「忘れない」とは「備えること」に他ありません。</p>